



平成29年4月20日
No.69

社協だより



いのちをつなぐ⑨つの赤十字事業

皆さまからのご協力のもとに、日本赤十字社は人々の健康的な生活や未来を支援する活動を行っています。

今年も赤十字の活動へのあたたかいご理解とご支援を
よろしくお願いいたします。



5月は赤十字運動月間です

昨年度、日本赤十字社島根県支部大田市地区へ皆さまからお寄せいただいた社資総額は、7,919,300円（一般7,571,300円・法人348,000円）となりました。ご協力大変ありがとうございました。

お寄せいただきました社資によりまして、日本赤十字社では国内外を問わず災害等で被害を受けられた方々への医療支援や物資支援、また防災のための講習会開催やボランティア育成を行っており、大田市地区においても、日常生活に必要な応急手当などを学んでいただく救急法や幼児安全法など講習会への講師派遣（平成28年度35件）や、災害への見舞い（平成28年度9件）、赤十字奉仕団、青少年赤十字（JRC）の育成、大田市防災訓練へ炊出し訓練としての参加など、年間を通してさまざまな活動を行っています。

どうぞ、日本赤十字社の活動にご理解とご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。

気持ちも新たに平成29年度スタート!

大田市社会福祉協議会では、新たに3名の正規職員を採用し、入所式を行いました。
新体制となり、気持ちも新たに地域福祉の推進に努力してまいりますので、皆様方のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

《入所式会長挨拶》

平成29年度が始まりました。皆さんの手によって、社協の事業計画、第2次大田市地域福祉活動計画ができ、先般理事会、評議員会で決定いたしました。新年度は、この計画を確実に実施できるように努力をしたいと思います。

先ほど辞令を渡しました新しい友だちも増えてきました。どうか仲良くやっていただきますようお願いいたします。

今日、社協へ入りました皆さん、おめでとうございます。若いバイタリティーと希望にあふれる人材を得ましたことは、社協にとりまして大変嬉しいことだと思います。

今日より社協の一員になる皆さんに、是非伝えておきたいことがあります。それは常に向上する気持ちを持つということです。入社早々は緊張の連続で、仕事を覚えることに必死でしょう。しかし、やがて仕事を覚えると流れだけをこなす漫然と過ごすようになるものです。それでは仕事はおもしろくありませんし、人間としての成長は望めません。皆さんは今、志も高く式に臨んでいると思います。どうかその気概を忘れず、日々精進する人であってください。お願いします。

また、社会福祉士の資格取得に頑張っておられる皆さんは、引き続き努力をしてください。その他の方も手話など新たなことに挑戦していただきたいと思えます。

皆さんは地区社協との連携を密にして、住民の皆さんのご理解ご協力をお願いしながら、誰もが支え合って心豊かに暮らすことのできる地域福祉の実現に努めていただきたいと思えます。体調に充分気を付けて、「笑顔であいさつ、明るい社協」を motto にお互い頑張りましょう。よろしくお願いいたします。

平成29年4月3日

社会福祉法人 大田市社会福祉協議会

会長 岩谷 博

平成29年度

社会福祉法人

大田市社会福祉協議会事業計画

1. 基本方針

かつて我が国では、地域の相互扶助や家族同士の助け合いにより、人々の暮らしが支えられてきました。日常生活における不安や悩みを相談できる相手や、世帯の状況の変化を周囲が気づき支えるという人間関係が身近にあり、子育てや介護などで支援が必要な場合も、地域や家族が主にそれを担っていました。近年様々な分野の課題が絡み合っており、複雑化し、個人や世帯単位で複数分野の課題を抱え、複合的な支援を必要とするといった状況がみられ、対象者ごとに「縦割り」で整備された公的な支援制度の下で、対応が困難なケースが浮き彫りとなってきています。

地域における多様な支援ニーズに的確に対応していくためには、公的支援が、個人の抱える個別課題に対応するだけでなく、個人や世帯が抱える様々な課題に包括的に対応していくことや、地域の実情に応じて、高齢・障がいといった分野をまたがって総合的に支援を提供しやすくすることが必要となってきています。国では、「二ツポン一億総活躍プラン」において、「我が事・丸ごと」の地域づくりの強化に向けた取り組みが推進されてきており、住民の身近な圏域で住民主体による地域課題の解決力を強化する体制づくりと総合的な相談支援体制を構築する取組みを展開する方針が打ち出されています。

このような状況の中、本会は、第2次大田市地域福祉活動計画を策定し、大田市と協働で「第2次大田市地域福祉計画・大田市地域福祉活動計画」を基に、複雑・多様化した課題の解決に向けて取り組ん

てまいります。

本会の地域福祉を進めていくための基本理念である「誰もが安心して暮らすことのできる福祉のまちづくり」を目指して、地区社会福祉協議会をはじめ民生児童委員協議会や自治会、社会福祉施設など関係機関・関係団体と連携を図りながら以下の実施計画に掲げる活動を推進してまいります。

2. 実施事業

〔推進目標1〕

住民参加による地域福祉活動の推進

- ◇地区社協を中心とした住民主体の地域づくりの推進
- ◇地区社協連絡会等の開催
- ◇小地域福祉活動計画の策定・活動支援

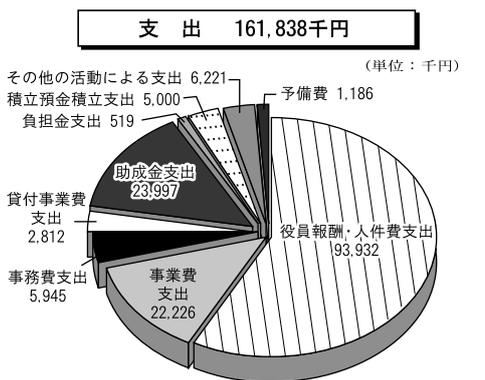
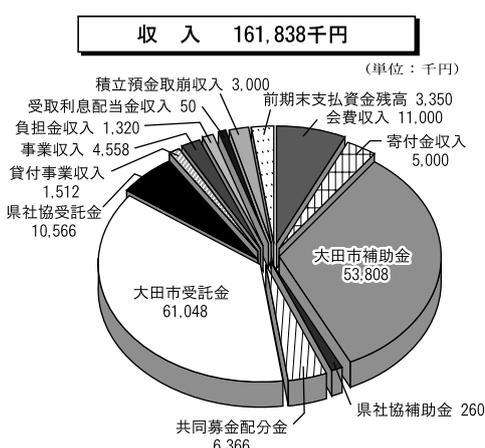
- ◇地区社協活動支援事業助成
- ◇地域ふれあい交流事業への助成
- ◇地域研修事業
- ◇福祉委員活動の推進
- ◇地域福祉力アップ推進事業
- ◇地区社協現況調査の実施

新規

- (2) 住民自主組織の活動支援
- ◇ふれあい・いきいきサロンづくりの推進
- ◇地域介護予防活動支援事業
- ◇子育て支援団体連絡会への支援
- ◇生活支援体制整備事業
- ◇レクリエーション用具等貸出し事業
- (3) 住民相互の助け合い意識の啓発とつながりづくり
- ◇地域福祉研修会の開催
- ◇高齢者の見守り活動に関する協定に基づく連携
- ◇新たな福祉課題に対応する活動の企画・検討

- 【新規】
- ◇地域福祉活動への住民及び施設・団体等の参加促進
 - ◇障がい者社会参加促進事業の実施
 - ・障がい者スポーツ振興事業の実施
 - ・生活訓練事業の実施
 - ◇障がい者週間啓発事業の開催（人権週間啓発事業との共催）
 - ◇健康・生きがいづくりフェスティバル開催
 - ◇社会福祉法人地域公益活動研修会
 - ◇老人福祉センター管理運営事業
- 【在宅生活の自立を支える活動の推進】
- (1) 関係機関との連携による相談体制の充実
- ◇大田市福祉総合相談事業
 - ・一般相談
 - ・専門相談（司法書士相談）
 - ・石見法律相談センター相談会
 - （面談相談・パソコン法律相談）
 - ◇関西大学法科大学院出張法律相談
- (2) 包括的支援の充実
- ◇生活困窮者に対する支援（生活サポートセンターおのだの取組み）
 - ・自立相談支援
 - ・家計相談支援
 - ・就労準備支援
 - ◇資金貸付事業
 - ・生活福祉資金貸付
 - ・民生融資金貸付（生活資金緊急現金）
 - ◇フードバンク事業
 - ◇入居債務保証支援事業の実施
 - ◇個別課題に基づく地域づくり
 - ◇こころのたより発送事業
 - ◇重度身体障がい者移動支援事業の実施
- 【新規】
- ◇学生服等再活用事業
 - ◇福祉委員の活動の推進（再掲）
 - ◇当事者団体などへの支援
 - ◇大田市民生児童委員協議会事務局受託
 - ◇大田市身体障がい者福祉協会事務局受託
 - ◇大田市障がい者関係団体連絡協議会事務局受託
- ◇大田市老人クラブ連合会活動支援
- ◇福祉バス運行事業
- 【推進目標3】 ボランティア活動の推進
- (1) ボランティア人材の養成とスキルアップ
- ◇ボランティア交流事業
 - ・奉仕員養成事業（手話・点訳・音訳）
 - ◇地域福祉活動サポーター養成事業（聞こえのサポーター、ガイドヘルプ、重度障がい者移動支援事業）
 - ◇ボランティア講座受講者への情報提供と活動支援
 - ◇ボランティア・市民活動センターの運営
- (2) ボランティア活動に関する相談・支援体制の強化
- ◇ボランティア・市民活動センターの運営（再掲）
 - ◇緩和ケア啓発事業への助成・支援
 - ◇ボランティア保険加入手続き事務
 - ◇収集ボランティア活動の推進
 - ◇企業・団体が行うボランティア活動との連携
- (3) 民間助成事業（愛のともしび募金等）
- ◇災害時に備えた地域住民及び関係機関とのネットワーク体制の強化
 - ◇災害救援ボランティア活動の推進
 - ◇しまね災害福祉広域支援ネットワークへの職員登録及び派遣
 - ◇島根県・市町村社会福祉協議会災害時支援協定に基づく被災者支援活動
 - ◇災害訓練等への協力
 - ◇災害ボランティアセンター運営マニュアルの整備
 - ◇日本赤十字社島根県支部大田市地区
- 【推進目標4】 福祉の心・人材の育成
- (1) 住民主体の地域福祉活動推進に向けた意識啓発と担い手の育成
- ◇ふくしの学びあい推進事業
 - ◇福祉委員の活動の推進（再掲）
 - ◇ライフステージに応じた福祉教育の推進

平成29年度 資金収支予算



- (2) 啓発活動の推進
- ◇市民後見人の養成研修及び啓発講演
 - ◇地域・学校及び企業等へ向けた福祉教育の推進
 - ◇生活支援体制整備事業（再掲）
 - ◇地域福祉力アップ推進事業（再掲）
 - ◇あいサポート運動の推進
 - ◇福祉委員の活動の推進（再掲）
 - ◇福祉に関する情報提供及び啓発の推進
 - ◇障がい者週間啓発事業の開催（人権週間啓発事業との共催）（再掲）
 - ◇福祉器具貸出
 - ◇点字・声の広報の発行
- 【推進目標5】 権利擁護の推進
- (1) 権利擁護体制の充実
- ◇福祉サービス利用援助事業
 - ◇日常生活自立支援事業の推進
 - ◇法人後見事業
 - ・法人後見運営委員会の開催
 - ・出雲成年後見センターへの参加
 - ・法人後見の受任
 - ◇大田市成年後見支援センター事業
 - ・相談支援活動の充実
 - ・後見人（市民後見・親族後見人）のサポート
 - ・市民後見人登録審査会の開催
 - ・市民後見人の監督・支援
- (2) 啓発活動の推進
- ◇市民後見人の養成研修及び啓発講演
 - ◇地域・学校及び企業等へ向けた福祉教育の推進
 - ◇生活支援体制整備事業（再掲）
 - ◇地域福祉力アップ推進事業（再掲）
 - ◇あいサポート運動の推進
 - ◇福祉委員の活動の推進（再掲）
 - ◇福祉に関する情報提供及び啓発の推進
 - ◇障がい者週間啓発事業の開催（人権週間啓発事業との共催）（再掲）
 - ◇福祉器具貸出
 - ◇点字・声の広報の発行
- 【推進目標6】 組織体制の強化
- (1) 広報活動の充実
- ◇社協だより発行事業
 - ◇ホームページの充実
 - ◇点字・声の広報の発行（再掲）
 - ◇ケーブルテレビなどの広報媒体の活用
- (2) 事業推進体制の強化
- ◇法人運営透明性の向上
 - ・理事会・評議員会・監査会の開催
 - ・苦情解決のための第三者委員会の設置
 - ◇職員の専門性向上と資格取得促進
 - ◇組織横断的な事業推進体制の促進
 - ◇財源の確保
 - ◇会員制度の周知と会員拡大
 - ◇民間助成金などの積極的活用
- (3) 演会の開催
- ◇福祉事務所をはじめとする関係機関・団体との連携
 - ◇大田市地域医療支援対策協議会との連携
 - ◇大田市障がい者自立支援協議会との連携
 - ◇大田市圏域自死予防対策連絡会との連携

福祉でまちづくり シリーズ

水上地区社会福祉協議会

水上地区社会福祉協議会は平成9年から住民が地域で共に助け合う「助け合い制度」を立ち上げ、「困ったときはお互い様の精神で」住民の参加を図りながら地域の課題解決に向けた取り組みを進め、みんなが笑顔で、この「まち」に住んでよかったと思えるように努めています。

福祉委員研修会

福祉研修

大田市社会福祉協議会の方に講師になっていただき「認知症高齢者への支援について」や「福祉委員の役割」などについてお話していただきました。



そば打ち研修会

地域のそば打ち名人の方に指導していただき、出来上がった「そば」は1人で暮らしておられる高齢者の方や、80歳以上の夫婦の皆さんに配食し喜んでいただきました。



町外施設入居者友愛訪問

地区社協会長、民生委員、銀笑会の代表が訪問。地元町内の様子などについて会話し喜んでいただいています。



町内美化活動

町や自治会で行なわれる町内美化活動や大型機械での除雪作業に助成しています。

大久保間歩へ訪れる観光客にも気持ちよく過ごしていただけるよう除草・清掃に努めています。



高齢者ふれあい会

日頃、1人で暮らしておられる高齢者の方や、80歳以上の夫婦の皆さんなど、総勢51名が参加。おまわりさんの交通安全のお話や、大田三中のスマイルコンサートを楽しんでいただいたり、福祉委員が弁当を手作りし、会食や懇談を楽しみました。



敬老会

敬老者45名を地域の方々など総勢82名でお祝いをしました。当日は高山小学校の子ども達のメッセージプレゼントや、保育園児の歌や踊り、演芸で楽しんでいただきました。



独居高齢者などへの福祉弁当配食

(月1回保育園児の折紙メッセージ付)

13名の福祉委員が月2回のお弁当を交替で「声がけ」「見守り」をしながら配っています。あわせて月1回、保育園児の折り紙・メッセージを添え、皆さん楽しみに待っていて下さいます。

誕生月には季節のお花のプレゼントもしています。



自治会座談会

自治会毎に開催

各自治会を水上地区社協理事が、4班に分かれ、活動内容等を理解してもらいながら情報交換し、課題解決に向けてより良い地域づくりを目指しています。



若者定住支援

町文化祭でU・Iターン家族歓迎セレモニー 2家族

水上地区独自で定住祝い金を給付し、U・Iターン者を歓迎しています。



光るチャイム

耳が聞こえにくくなった方のお宅に光るチャイムを取り付けることで本人だけでなく、訪ねていかれる周囲の方にも喜ばれています。



助け合い会

サービス活動(利用、協力、まごころ会員)

できないことをちょっと手助けして欲しい人(利用会員)は、サービスを提供する協力会員から要望のサービスを受けられます。まごころ会員には経済的に支援してもらっています。

福祉タクシー事業

自宅まで送り迎えのある福祉タクシーは、通院や買い物などで月3回程度の利用があり、大変喜ばれています。



学童保育事業「しごんぼクラブ」

高山小学校から帰宅後家に誰もいない児童を対象に、放課後の安全確保と児童相互の交流を図るため、町民からボランティアを募り学童保育をおこなっています。子どもも喜び、保護者も助かってボランティアの方も子どもから元気もらっています。

平成28年度芸能大会開催

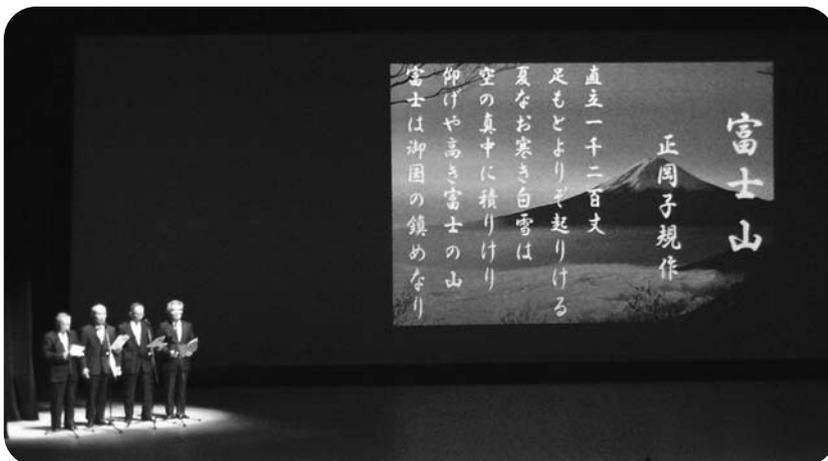
2月10日(金)大田市民会館大ホールにおいて、
芸能大会を開催いたしました。

当日は多彩な演目で芸達者な出演者(15団体、23種目、総勢134人)の方々が日ごろ健康づくりや、生きがいづくりの一環として取り組んでいる芸能の練習成果を披露しました。来場者は会員以外に、一人暮らしの高齢者や福祉施設の皆さんも招待して楽しんで頂き、出演者には温かい拍手がおくられました。

また、一般の方にもご案内をし、老人クラブの活動の様子をご覧いただきました。



老連だより



吟詠 朝山朝寿会



踊り 水上銀笑会



踊り 大田加寿智会



踊り 小屋原延寿会



フラダンス 五十猛いさりび会



安来節どじょうすくい 波根町長寿会

福祉展

3月4日(土)、5日(日) 市民センターにおいて福祉展(作品展)を開催いたしました。市内の老人クラブ会員や福祉施設から書、手芸品、竹製品、陶器、押絵、ちぎり絵等、力作ぞろいの作品が多数出品され、たくさんの来場者で賑わいました。また4階では恒例となりました「フリーマーケット」も開催し、掘り出し物はないかと、探す皆さんでにぎわいました。たくさんのお買い上げありがとうございました。



パッチワーク・袋物展示



書・陶芸展示



大作屏風「寺尾」展示



施設展示



フリーマーケット

老人クラブに加入しませんか!

健康

友愛

大田市老人クラブ連合会では各地域で趣味やスポーツ、学習活動や世代間交流など様々な活動を行っています。楽しい仲間と出会い、生きがいを見つけてみませんか。あなたのご入会をお待ちしています。



奉仕

お問い合わせ

大田市老人クラブ連合会

事務局 〒694-0064 大田市大田町大田イ128
TEL (0854) 84-0266

○香典返し寄付

大田	中田	明香	上田	博文
岡田	清	大谷	和則	
田原	経久	柳井久美子		
岩田	毅	深谷	忍	
辻間	保老			
川合	真二			
池田	功司			
富山	横山			
波根	柿田			
久手	高原			
	兵庫			
	三谷			
	木村			
	岡田			
	坂根			
	宮根			
	森山			
	五十猛			
	静間			
	大屋			
	久利			
	水上			
	温泉津			
	仁摩			
松江市				

出雲市 今岡久美子
 広島県 知野見恵美子
 ○一般寄付について
 朝山 岩谷 博

以上、635,000円のご寄付をいただきました。また、古切手、プルタブ、ペットボトルのキャップも多数いただきました。

○フードバンク事業関係

○食品の寄贈について

- ・カーブス島根大田
- ・フードドライブメンバーの皆様

他多数の方々にご協力いただきました。

義援金へのご協力
 ありがとうございます

平成29年2月〜平成29年3月受付分(順不同) 寄付者一覧
 ※ご承諾をいただきました方のご芳名等を掲載させていただきます。

平成28年熊本地震災害義援金
 ・公益財団法人シルバード振興事業団
 ・大田市役所設置義援金箱

平成28年鳥取県中部地震災害義援金
 ・大田市役所設置義援金箱

大田市役所設置義援金箱
 本会にお寄せいただいた義援金は、日本赤十字社を通して被災地に送られます。

ご寄付ありがとうございました

大田市の地域福祉のために有効に活用させていただきます

(平成29年2月〜平成29年3月受付分順不同・敬称略)

※社会福祉法人への寄付は、個人は所得税法または租税特別措置法寄附金控除、法人は法人税法上の損金算入が出来ます

緩和ケアネットワーク大田からのお知らせ

患者さんと家族さんのための

石見銀山 **がん哲学外来カフェ**

参加無料

がん哲学外来とは・・・
 がんと告知されてから、あなたが考える「悩み・不安・思い・願望」など、対話をとおして「解消できる道」を一緒に探し「医療の隙間」を埋める活動です。がんを患うご本人だけでなく、支えられている家族の方々、ご遺族、医療従事者、市民などお互いの立場を越えて、共に寄り添い自由に語り合います。お気軽にお立ち寄りください。

平成29年 **6月19日** 19:00~20:30 (受付開始18:30~)

大田市民会館中ホール

対象者 **どなたでも** ご希望の方には個人面談も行います

講師 樋野興夫先生
 医学博士
 順天堂大学医学部病理・腫瘍学 教授
 一般社団法人がん哲学外来 理事長

第68回保健文化を受賞。
 医療と患者の「隙間」を埋めるべく開設された、「がん哲学外来メディカル・カフェ」は、多くの人の心を動かし、現在、全国約120カ所でメディカル・カフェが開催されている。

著書
 ・がんに効く心の方箋 一問一答 一悩みがスッキリ軽くなる (株式会社廣済堂出版)
 ・いい人生は、最後の5年で決まる (SBCクリエイティブ株式会社)
 ・人生から期待される生き方 (株式会社主婦の友社)
 ・苦しみを癒す「無頓着」のすすめ (株式会社ブックマン社) など多数

お問い合わせ **大田市民立病院 地域医療連携室**
 ☎(0854)84-7199

主催/緩和ケアネットワーク大田、島根県県民保健所
 共催/大田市
 後援/大田市医師会、一般社団法人がん哲学外来、石見銀山テレビ放送局

市民後見人養成講座 受講者募集

大田市では、司法書士などの専門職後見人が非常に少なく、専門職後見人以外の市民による後見活動が求められるところです。

平成25年8月大田市第一号の市民後見人が誕生し、以降10件の事例に市民後見人が選任され、ご活躍いただいております。

島根県内では今のところ大田市のみで市民後見人が選任されており、大田市社会福祉協議会が、定期的に或いは困った事などがあった場合、市民後見人の支援をさせて頂いており、安心して取り組める体制を整えていることが認められた要因と推察しております。

今年度、第4回目の市民後見人養成講座を計画いたしましたことから、出来るだけ多くの市民の皆さんに、成年後見制度の基礎知識を学び、今後市民後見を担っていただきたく、市民後見人養成講座の受講をご案内いたします。

受講期間は6月〜来年1月に毎月1回程度(全9回)開催予定としております。

問合せ先
大田市社会福祉協議会総務課 TEL(0854) 82-0091
大田市成年後見支援センター FAX(0854) 82-9960